

新井中央小だより

ホームページ
メールhttp://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html
chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

平成25年9月13日

東京の最終プレゼンテーションに感動

校長 小林 啓一

ブエノスアイレスでの国際オリンピック委員会総会で、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決まりました。

東京の最終プレゼンテーションが好評で、それが決定に大きな役割を果たしたと評価されています。私は二つのことに感動しました。

一つ目は、佐藤真海さんのスピーチです。佐藤さんのスピーチは、「私がここにいるのは、スポーツによって救われたからです。スポーツは私に人生で大切な価値を教えてくれました。」という言葉で始まりました。

佐藤さんは、スポーツが大好きで、高校で陸上に打ち込み、大学で夢見ていたチアリーダー部に入りました。けれども、19歳の時に骨肉腫を発症し、右足の膝から下を切断し、絶望の淵に沈みました。

しかし、スポーツ義足と出会ったことにより、陸上競技を再開し、目標を決め、それを乗り越える喜びを感じ、自信が生まれました。そして、「何より大切なのは私が持っているものであって、私が失ったものではない」ということを学び、アテネと北京のパラリンピック大会に出場しました。

2012年ロンドン大会も楽しみにしていたのですが、東日本大震災により、津波が故郷の気仙沼市を襲い、6日間、家族が無事でいるかどうか分かりませんでした。

再び絶望の淵に追い込まれましたが、「自分ができることをしよう」と、母校などで

自身の経験を語りました。国内外の多くのアスリートが被災地に支援に入り、子どもたちを勇気付ける姿も見てきました。

「そのとき初めて、スポーツの真の力を目の当たりにしたのです。」と語る佐藤さんの笑顔が輝いて見えました。

二つ目は、映像の内容の素晴らしさです。その中に、一人の少年の物語があります。河原で一人シート練習をする少年。ボールがリングと柱に挟まってしまい、途方に暮れました。そのとき、偶然通りかかった外国人バスケットボール選手がバスを停め、ボールをとってくれました。しばらく、少年とバスケットボールを楽しんだ後、分かれ際に自分の赤いリストバンドを渡し、「いつか、プロになって、一緒にやろうね」と語りました。

時が流れ、海外のとある街角でシート練習をしていた少年に近づいた若いバスケットボール選手の腕には赤いリストバンドが。彼は少年の時の出会いを思い浮かべながら、少年とプレーを楽しみ、少年の目はあこがれの思いで輝きます。スポーツが少年の夢をつないでいく素敵なストーリーの映像でした。

スポーツの秋、陸上やバスケットボール、サッカー、野球などに元気いっぱい取り組んでいる子どもたち、スポーツの素晴らしさを実感し、人とのつながりを広げ、夢を膨らませてくれることを願います。

1学期の学校評価の結果と今後の取組

学校評価 の役割

学校では、各種調査の結果、児童や保護者のアンケート結果、保護者や地域の方から寄せられた御意見や御要望などを踏まえ、重点目標の達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについて評価し、よりよい教育ができるように改善を図っています。

また、こうした取組を学校関係者評価として学校評議員の皆様からも検討していただき、学校評価の結果と改善策などを皆様にお知らせし、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めます。

1学期の学校評価の結果と今後の取組をお知らせいたします。

心づくり 互いのよさや違いを認め、思いやりの心をもってかかわる子ども

【成果】

学年の創意を生かしたあいさつ運動や充実した「なかよし班」活動を進めながら、よりよいかかわり方ができるように、力を入れてきました。また、人権教育、同和教育を重視した学習指導や生活指導を進め、いじめや差別をしない、させない、許さない指導に力を入れ、御家庭でも、指導してくださいました。そのため、「学校が楽しい」という子どもが多いです。御家庭の協力を得て、いじめや差別の兆しを早めに見つけ対応しています。

【課題】

学校では、「あいさつマスター」など、学年が主体になったあいさつ運動により、あいさつはよくなってきたていると考えています。しかし、来校者、家族や地域の方などへのあいさつはまだ不十分です。

【今後の取組】

「あいさつは気持ちがいい」と思えるようなあいさつ運動の工夫、秋の「ALL 妙高」あいさつ運動（9月24日～27日）など、保護者や地域の皆様の御協力をいただきながら、取組を進めます。また、あいさつも含め、人との「つながり」を重視して、教育活動を進めます。

学びづくり 進んでかかわる中で、自分の考えを深め、表現する子ども

【成果】

学習ルールの定着や分かる授業づくり、話し合い活動や意見交流を多く取り入れることなどに力を入れてきました。アンケートの結果に成果が表れています。

始業前や放課後、夏休みの「パワーアップ教室」に多くの子どもたちが参加しています。今年も、ボランティアの方の支援もいただいています。

<児童アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
学校は楽しいですか。	95.2	
いじめや差別をなくすには、どうすればよいか考え、行動していますか。	91.9	
<保護者アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
お子さんは学校が楽しいと思っていると思いますか。	91.5	
いじめや差別をしないように、日ごろから、お子さんと話していますか。	93.3	

<児童アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
はっきりとした声で進んであいさつができましたか。	89.0	
<保護者アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
家族や近くの人にあいさつをしていますか。	73.3	

<児童アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
学年の学習のきまりを守りましたか。	92.1	
授業はよく分かりますか。	93.7	

【課題】

「話す・聞く」について、児童と保護者のアンケート結果にズレが見られます。学校では、聞く姿勢ができている子は多いが、相手の思いや発言の内容を理解しながら聞くことはまだ不十分であり、発表の際の声が小さい、積極的に発表する子が少ない等の課題があると考えます。

また、「先生、紙！」のような言い方もあるので、きちんと話すように指導しています。御家庭でも、最後までしっかりと話させるなど、話す力を付けていただきたいと思います。

【今後の取組】

しっかり聞いてもらえると、安心して話すことができます。学校では、授業や生活の中で安心して話せる集団づくりに力を入れるとともに、ペアやグループでの伝え合い、話し合いの機会を確保すること、うなづく、相づちをうつなど、「聞き方」の指導を進めていきます。

健やかな体づくり たくましく生きるための健康と体力を自ら高めようとする子ども

【成果】

休み時間など、体育館やグラウンド、前庭、ふれあい広場などで体を動かして遊んでいる子が大勢います。遊びの中で、体力や人間関係力、コミュニケーション力など様々な力がつきますので、今後も遊びを奨励しています。

【課題】

みんなで食べる給食では、好き嫌いせずに食べようとする子どもたちも、家では苦手な物は口にしないことがあるようです。

生活リズムについては、自分で決めたテレビを見たりゲームをしたりする時間を守れないため、睡眠不足になり、翌日の学習に実が入らなかったり体調がすぐれなかったりする様子が見られます。

【今後の取組】

食については、御家庭でも、食と健康、食と成長の関係を話していただき、好き嫌いを減らしていくように声掛けしてくださいますようお願いします。また、生活リズムでは、できるだけ睡眠時間を確保し、メディアコントロールが上手にできるように御協力いただきたいと思います。

＜自由記述(一部)＞ いただいた御意見を今後の指導に生かしていきます。

○家庭学習ではなかなか集中できないことが多い、パワーアップ教室はとてもありがとうございます。

→「分かった、できた」喜びを味わわせ、家庭学習の意欲も高めていきたいと思います。

○保護者参加の集会などで私語をしている人が多く、びっくりしました。

→学習参観や集会など、子どもたちの模範になるようにお願いします。

○帰り道、車道に広がって歩いている姿が見られ、危険だと感じました。

→子どもたちへの指導を徹底します。見られたら注意し、学校にも御連絡ください。

＜児童アンケートの結果＞		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
自分の考えを書いたり話したりできましたか。	82.1	
先生や友達の話をしっかり聞くことができましたか。	95.8	
＜保護者アンケートの結果＞		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
自分の考えを相手に分かってもらえるように話すことができますか。	68.6	
人の話をしっかりと聞こうとしていますか。	71.1	

＜児童アンケートの結果＞		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
体育の授業では、自分のめあてをもって意欲的に取り組むことができましたか。	89.8	
給食では、苦手な物もがんばって食べようとしていましたか。	91.1	
自分の計画した生活リズムで生活することができましたか。	78.0	
＜保護者アンケートの結果＞		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
進んで体を動かすよう、お子さんに話していますか。	80.1	
苦手な物でも、食べようとしていますか。	64.5	
自分で決めた生活リズムに合わせて生活していますか。	78.2	

学校からのお知らせ

職員の異動について

1学期末に、江口春奈 調理員、長田康子 調理員、内田里美 調理員さんが退職されました。替わりに、市村明美 調理員、木村明美 調理員、利根川加奈 調理員が着任しました。よろしくお願ひします。

登校について

学校では、登校時の安全確保のため7時50分から8時10分までの間に学校に入ることができますように登校することにしています。児童玄関の解錠も7時45分になりますので、御理解、御協力をお願いします。なお、課外活動の朝練習など、特別な場合は別に該当のお子さんに連絡します。また、お子さんを送ってこられる場合、校門前の停車は、カーブになっており大変危険です。わくわくランドの駐車場など、安全な所で乗り降りをお願いします。

大雨や台風に備えて

8月末より、局地的な大雨が続いています。また、今年の秋は台風の影響を受けやすいようです。急に天候が変わるのは、登校前に声をかけ傘を持たせてください。なお、記名のない傘もあるようです。他の持ち物同様、必ず記名をお願いします。(1年生は、雨合羽)

なお、台風等によっては登下校時刻の変更なども行います。PTA メール等で連絡しますので、予め御了承ください。

9月・10月の主な予定

9月18日(水) 妙高市小学校親善陸上大会(19日、20日予備日)

21日(土) PTA中央小っ子カップ(グラウンド・体育館)

24日(火) ALL妙高秋のあいさつ運動(~27日)、教育実習最終日

※今回は、1. 3. 5年生のご家庭が(家庭実数)対象です。期間中、学校前の歩道
でのあいさつ運動を行います。なお、春に参加された方も大歓迎です。皆様の御協力
をよろしくお願ひします。

26日(木) 6年生修学旅行(東京方面 27日まで)

10月1日(火) 第1回人権教育、同和教育を学ぶ会

13:30~14:15 全学級で「同和教育関連学習」を公開

14:30~16:00 講演会・ワークショップ

演題 「人権(命は絶対!)は世界の常識」

講師 「解放社会学研究所」所長 「NGO・横浜国際人権センター」理事

江嶋 修作 様

※多くの皆様の御来校をお待ちしています。地域の皆様もどうぞ。

9日(水) 上越地区小学校管楽器フェスティバル(金管部参加)

19日(土) 文化祭 (10月に詳しい御案内をいたします。)

30日(水) 校内マラソン大会

